

# オールとやま地球村 秋のお知らせ

## とやまラブ&ピースパレード！

10月14日に富山市でラブ&ピースパレードを行いました。反戦デモではなく非対立で、平和を願う国境を超えた市民のパレードです。集まったのはパキスタン、イギリス、アメリカ、日本からの80名。アメリカ同時多発テロとアフガン報復攻撃の被害者へ追悼の祈りをし、子供たちと手を繋いで「イマジン」「ともだちになるために」を歌い、笑顔でパレードしました。13社のマスコミ（新聞、テレビ、ラジオ）の協力により特集として報道していただきました。宗教と国境を越えた市民のつながりを富山全体に、全国にアピールすることができました！

そして11月11日の世界平和記念日にラブ&ピースパレード(ステップ2)を行います！この日の11時11分11秒に世界の約100の地域で同時に愛をこめて「イマジン」を歌います。そして富山でも歌をうたい、パレードをします。そして宗教・国境を越えたラブ&ピースネットワークをつくり、自分たちのできることを行動に移していきます！

11月11日 10:30 に富山城址公園 集合です。みなさん、集まりませんか？

(たかはし 090 - 7743 - 4270 [littlesoulkids@hotmail.com](mailto:littlesoulkids@hotmail.com))

## こどもエコフェスタ in 新湊

11月11日(日) 13:30~16:00 新湊市中央文化会館で行われるエコフェスタに、たかおか地球村も参加します。わかりやすく書かれた環境問題のパネル展示等をやります。その後は楽しくMMをしたいと思いますので、新湊のみなさん！ぜひぜひご参加くださ~い。

(ながの 090 - 3886 - 9267)

## パジャマDE MM in 氷見

氷見市の会員さんの土合さんちをお借りしてお泊りMMをやります。昼間、大自然に囲まれた山あいの畑に集合します。訪れた人は誰もが土のパワーで元気になってしまうという自然農法の畑で作物の収穫を体験した後、夜には穫った野菜を使った野菜鍋を囲んでワイワイガヤガヤといろんなことを皆で語りましょう。詳しい時間スケジュールは、まだこれからですが、現地スタッフを募集していますよ～

(かわべ 090 - 1317 - 8612)

## オールとやま地球村のMMです！

にいかわMM 第1, 3火曜 黒部勤労青少年ホーム 19:30 から (かわべ 090-1417-8612)

たかおかMM 第2, 4金曜 高岡おとぎの森公園 ふれあい館 19:30 から

(ながの 090 - 3886 - 9267)

とやまMMは休止することになりましたが、富山市付近のメンバーで「なかよし会」があります！ とやま仲良し会 11月21日 サンフォルテ3階 交流センター

(よしふじ 090 - 9766 - 3580)

企業、学校、PTA、婦人会、なかよし会、、、で地球村の講演会、ミニ講演会をしたいという方は各地域のお世話係りにご連絡ください！(30人くらいからでもOKです)

## 「神の子たちを」上映する会 IN TOYAMA

フィリピンのゴミの山で生活している人々の暮らしをつづったドキュメンタリー映画

「神の子たち」の上映会を来春をめどに企画しています。

詳しいスケジュールはこれからですが、希望者への試写会や、準備会を定期的にかけて

いますので、興味のある方はご連絡ください。

[ 神の子たち ] HP <http://www.kaminoko.com>

( おおえ 090 - 2376 - 1659 )

## 日本海鍋祭りキャンペーン！

日本海鍋祭り（約六万食）において「マイ箸、マイお椀キャンペーン」として高岡市長にああなたの気持ちを伝えてみませんか？地球と共生するグリーンコンシューマとしての意識を広めるチャンスになります！

高岡市役所秘書課 蒲田様 tel 0766-20-1218 fax 0766-20-1660

高岡市観光協会 田中様 tel 0766-20-1547 fax 0766-20-1497

## ゴミ減量作戦に向けて

私の地元氷見市では3年前に高岡広域圏ゴミ焼却場建設が予定されております。

一日、300 屯、24 時間連続焼却の灰溶融炉型施設です。しかしながらH12 年度に始まった包装容器リサイクル法、そしてH15 年 10 月には循環型社会形成法案が施行されます。

この法案の中で一番重要な事はデュアルシステムつまり企業責任として包装紙、容器等は企業が処分費用を上乗せして販売し引き取るというものです。

ドイツではこの法案はすでに 15 年以上も前に施行されており現実にゴミの量は半分以下に減量しており生ゴミの埋め立ても 2005 年からは禁止されます。

循環型経済社会に移項すればこれ迄のゴミに対する常識は一変するでしょう。そして各メーカーはゴミを回収する費用削減の為 必死になって努力します。後 2 年後には循環型経済社会となれば当然ゴミは現在の半分以下になりこのような大形の焼却炉はゴミ不足に陥り無用の長物となるでしょう。現に山形県の最上市では一日 100 屯の焼却炉を建設しましたが今は一日 60 屯のゴミしか集まらないのです。しかしダイオキシン対策の為に 24 時

間連続焼却しなければならず炉の温度を 1200 度維持するのにゴミ不足の為週一回タンクローリー車が来て重油を運び入れ焼却炉で重油を燃やして温度を下げない様になっている次第です。そして同じく山形県の長井市では町ぐるみでレインボウプランと呼ばれる生ゴミのコンポスト化、堆肥化して農家に市販価格の 7 割り程度の価格で販売し成功しています。(H13.10.11 富山テレビ放送) このように行政と市民が努力すれば幾らでもゴミは減量化出来大型の焼却炉は不要となります。

今はダイオキシン対策の為 1200 度前後の高温で焼却していますが実は 900 度を超えると鉛、カドミウム、水銀、ヒ素と言った重金属類が回収出来ずに空気中に揮散してしまします。ですから現在の焼却技術は完全なものではありません。

とにかく『ゴミ』は燃やしてはいけないと私は思います。

小川 修永 tel&fax) 0766-91-7044。e-mail)o.shuuei@p2332.nsk.ne.jp

**興味をもたれた方、まずはMMに来てみませんか？**